

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日:令和4年 3月 28日

事業所名:児童通所支援事業所あおぞら サービス種類:児童発達支援・放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	定員10名に対して、必要なスペースは確保できているが、活動内容によっては狭い時もあり、学習机などを置いていたスペースを訓練用に確保するため、新たに屋外に物置を設置した。加えて、現在、整理棚なども設置し、備品等の配置換えを検討している。	はい32件 どちらともいえない5件 いいえ0件 わからない3件 (ご意見)見学の際そう思った。	安全な療育支援環境を常に考えて、これからも今以上のスペース確保に努めていきます。
	2 職員の適切な配置	配置できている。個別対応に必要な児童もいるため、曜日、時間帯によっては配置基準の1.5倍ほどの常勤換算人数を配置している。	はい30件 どちらともいえない2件 いいえ0件 わからない8件 (ご意見)職員の専門性や資格等知りたいたいと思いました	職員の専門性などのご意見をいただいたので、各職員の職種のみならず、資格等についても掲示する様に行きます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	児童がつまづくような段差は開設前のバリアフリー工事で整備している。また主となる訓練室に加えて、クールダウン等、個別対応ができるように小さな部屋も設置。	はい33件 どちらともいえない4件 いいえ0件 わからない3件	事業所の壁が半分強化ガラス張り、目隠しのシートやパーテーションなどを配置し、日の光を確保しながらも、外からの刺激を抑え集中しやすい環境を確保しています。今後も状況を見ながら、よりよい環境を確保します。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	日々、職員による掃除を実施。利用した療育道具もアルコール消毒をしている。来所持は検温、手洗い、アルコールによる手指消毒は欠かさず行っている。	はい37件 どちらともいえない0件 いいえ0件 わからない2件	これからも子供たちの活動に合わせた空間、環境を意識して同様に実施していきます
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	支援については日々の記録に記入し、必要に応じ職員間で話し合っている。また職員からの業務全般に対する意見を聴取するため、半年に1度の割合で非常勤職員全員を含めた職員会議を実施している。		職員によっては、その都度、意見を伝えるにくいことも考慮し、今後は全職員が管理職等に直接相談等ができるチャットツール(slack等)を活用し、適宜業務改善に反映していきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	初年度ということもあり支援等については近隣他事業所へ見学に行かせていただき、様々な助言を頂いた。運営については、法人契約の会計士に意見をいただいている。		今後、第三者評価機構などの機関評価も前向きに検討していきたいと思えます。また適切な運営等については今後も会計士等の意見をいただき改善していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	コロナ禍と言う事もあり、研修の機会は制限されているが、いくつかの、法人内研修、オンライン研修に参加している。また内部研修、外部からの専門職(発達障害者支援センター)によるケース検討指導を受けた。		対面研修は原則ありませんので、オンラインで研修参加をしています。今後もコロナの状況を踏まえて、研修に参加していきます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	連絡帳や送迎時に保護者から伺った情報や相談を含め、児童の様子から必要と思われる内容を取り入れている。職員間で情報を共有したうえで作成している。	はい36件 どちらともいえない2件 いいえ0件 わからない2件 (ご意見)・初めての利用と言う事もあり、子供の特性などこちら側から上手く伝えきれていない面が多かったと思えます・先生方の本児への関りや支援については大変満足しています	保護者様とは連絡帳のほかに、送迎時など顔を合わせた際には要点を絞って口頭でも支援の状況を伝え、自宅での様子を適宜伺うようにしています。今後も同様に続けていきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	一人一人の様子や障害特性に合わせ、職員間で情報共有しながら作成している。集団での活動が難しい児童は、課題を絞って個別に対応するようにしている。		現在の支援方法を基にしながら、個別と集団の両面での働きかけ、支援を今後も各児童の課題や目標に向けて実施していきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	学年、年齢相応の項目設定を行いながら、外部の発達検査などの評価も踏まえ、それぞれの児童の現状に合わせた内容を記載している		今後も各ライフステージを意識し、将来における保護者様の希望等も踏まえた計画を意識していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画を把握し、一人一人の目標に沿った関わりを行い、職員間で共有する様にしているがものの、全職員に療育支援の理解がまだ十分にできていない現状もある。	はい38件 どちらともいえない1件 いい0件 わからない1件 (ご意見)計画書に事業所名を記載してほしい	支援計画の共有化を徹底し、それに向けたサービスの質を担保できるようにOJTの機会を定期的に設けていきます。計画に関しては記載漏れのないように見直しを繰り返し行います。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	クラス毎の主指導員(常勤保育士)が主に活動の立案を行っているが、職員間で相談できる環境である為、必要な時はアドバイスを受けて全職員が柔軟に意見を出せるようにしている。個別課題が必要な児童には各担当が立案している。		プログラムの質をこれからも常に見直し、目的がはっきりとしながらも、子供が楽しみながら取り組めるプログラムを立案していきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	土曜日、祝日については放課後等デイサービスの午前からのプログラムに取り組んでいる。事業所内でできる行事(クッキングや制作)や長期休暇となる夏休みは、外出などを取り入れ活動に変化を持たせている。	はい35件 どちらともいえない1件 いい0件 わからない3件 (ご意見)制作物に季節感がありとても楽しみ	参加する児童と対応する職員の負担や安全に活動をする為に、これからも外出などは、まずリスク管理を念頭に置いた計画をこれからも実施していきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	一人一人の児童の様子やクラスの雰囲気、目標や季節に合わせてプログラムの内容を工夫、変更している。全職員が常に療育支援を意識したプログラム構成を考えている。		他事業所等の活動も参考にさせていただきながら、自事業所に照らし合わせて、良いところを意図的に学び取り入れ、実施していきます。楽しめる雰囲気の中に学びもあるという療育支援の基本も大切にしていきます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	日々のプログラム案を作成し、活動内容や支援の方法を記入、内容や役割分担、その日の利用児の注意事項や支援方法を各職員とのカンファレンスで共有している。		パートタイムでの勤務となる職員へも支援の内容を伝え、打ち合わせを必ず行っているため、これからも支援の質は大切にしつつ、限られたサービス提供時間の中で、どのように要点をしばり、共有するかの工夫も考えていきたいです。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	利用児の様子や保護者から伺ったことをその日のうちに日誌やケース記録に記入し、職員全員が把握できるようにしている。必要に応じて職員間でカンファレンスを行い、目標や関りの確認を行っている。申し送り事項は押印欄を設け諸君が共通認識できる様にしている。		今後も今まで通りの記録や情報の共有方法を維持しながらも、引継ぎ事項に時間差が生じず、漏れがないように、支援ソフトその他のツールも使っていきます。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎回、ケース記録にPDCAサイクルの考え方を参考に課題や実施した支援内容を記入し、支援の改善については事前カンファレンスで話し合っている。		これからも定期的な会議、打ち合わせを行い支援の状況を検証していきます。また記録についても要約式、口述式などその時に合わせた記録方法を各職員が身につけていけるように、職員間でのスキル交換を行っていきます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的なモニタリングで計画の見直しを行っている。継続するものと変更、終了するものなど、その必要性なども会議をして判断している		引き続き定期的に行います。支援計画の質を高めるために、モニタリング、見直し時期の保護者の都合を伺いつつも、一律ではなく、半年内で幅を持たせていき月々の支援計画の見直しを丁寧に行えるようにします。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	各児童の担当している職員が支援状況を伝達し、要望があった会議、事案については参加している。		担当者会議は時間等に配慮をいただき、サービス提供時間外に合わせて頂いている。また、会議対象児童が複数名いる場合は、それぞれの職員が適宜対応をする。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当なし		今後、事例が発生した時に適時実施して行きます
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当なし		今後、事例が発生した時に適時実施して行きます
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	来年度の就学予定先のコーディネーターの先生と情報交換を行ったり、計画相談の相談員に状況を伺い、学校や幼稚園との間に仲介をしてもらい、情報を共有した。		計画相談支援事業所へも要望しながら、これからも各教育機関との連携を大切にしていきたいと思います。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	今年度については該当者はいません。		今後、事例が発生した時に適時実施して行きます。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・発達検査を行った心理士の先生から様子や支援方法の具体的な方法を来所いただき、アドバイスをいただいた。 ・その後も必要に応じてクローバーランチと連携を行っている。		児童の様子を見ながら、また保護者のご要望も聞きながら、専門的なクローバーと連携、また紹介をしてつながりを持てるように支援を続けていきます。
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	今年度はコロナもあり、学年閉鎖もあった学校の状況を踏まえると依頼したり、要望はなかった。	はい8件 どちらともいえない7件 いいえ5件 わからない18件 (ご意見)・コロナの為交流は難しいと理解しています。・コロナ感染防止のため必要なし。外部との交流は記憶にないです	今後は地域でのコロナの状況を踏まえながら、検討して行きます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	これらについてはコロナもあり、学年閉鎖もあった学校の状況を踏まえると依頼したり、要望はなかった。また地域の行事や、福祉法人のイベントもすべて中止になっている。	はい8件 どちらともいえない7件 いいえ5件 わからない18件	今後は地域でのコロナの状況を踏まえながら、検討して行きます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	新規契約時、契約書及び重要事項説明書で説明。サインを頂き、事業所、保護者双方がそれぞれ保管している。また、それ以外でも適宜相談があれば説明をさせていただいている。	はい38件 どちらともいえない1件 いいえ1件 わからない0件	利用者負担の仕組みなどについては初めに相談支援事業所が説明をしてくれているので、不明瞭な部分やわからないところは市窓口聞きながら、把握し丁寧に対応をしていきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	保護者に説明し、直接手渡している。その際、児童の様子を踏まえながら保護者からも不明な点がないか確認している。	はい36件 どちらともいえない2件 いいえ1件 わからない1件	保護者にとって不明瞭な場合はその場で修正し計画を発行しており、今後も引き続き内容と実際の支援が乖離しないようにスモールステップを重視していきます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	送迎時や連絡帳でのやり取りの中で、その日の状況を報告し、最近の様子を保護者に尋ねつつ、込み入った相談があれば、その場や別に時間を設け個別に対応している。	はい21件 どちらともいえない6件 いいえ2件 わからない11件	今後も個別に各児童に対する日頃の関わり方や留意点、どのような視点であれば伝わりやすいかなど、ご家族としての関わり方について適宜お伝えしていきます。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時や連絡帳でのやり取り、また休まれるときなどでも自宅での様子など情報交換を適宜行い、共通理解をしている。	はい38件 どちらともいえない1件 いいえ0件 わからない1件 (ご意見)・毎回利用後に活動内容や家での関わり方を教えてもらっています。・とても細かく伝えて頂いています	毎回利用時の様子をお伝えさせていただいております。何かあったときは、その時だけでなく連絡帳にご記入いただいたり、直接電話で話をお聞きし、児童に対する共通理解をこれからも行っていきます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	送迎時や連絡帳でのやり取りの中で相談があれば、いつでも相談に乗れることを伝え、その場や別に時間を設け、保護者の危機感も考え、出来るだけ迅速に対応している。	はい 32件 どちらともいえない 6件 いいえ件 わからない2件	今後も個別に各児童に対する日頃の関わり方や留意点、どのような視点であれば伝わりやすいかなど、ご家族としての関わり方について適宜お伝えしていきます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	今年度は、コロナ禍と言う事もあり、実施できていない。	はい3件 どちらともいえない4件 いいえ12件 わからない24件 (ご意見)・コロナの為交流は難しいと理解しています。・コロナ感染防止のため必要なし・いつか保護者会などを開催して頂けると嬉しいです	コロナの状況を踏まえながら、今後、テーマを決めて、オンラインでの開催方法なども模索していければと思います。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情相談窓口の情報を重要事項説明書内に記載している。また直接伺った案件には、迅速かつ明確に対応している。	はい21件 どちらともいえない5件 いいえ0件 わからない14件 (ご意見)・お知らせやコロナの状況などもきちんと連絡して頂いています。・特に苦情がないためその様な機会がありませんでした	今後も同様の体制を整備しながらも、言いにくい部分や不備に気付いた場合に、言いやすい関係性を保つように努めます。また無記名の意見箱(目安箱)や相談支援事業所への相談なども積極的にご案内します。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	送迎時や連絡帳でのやり取りの中で、その日の状況を報告し、最近の様子を保護者に尋ねつつ、込み入った相談があれば、その場や別に時間を設け個別に対応している。	はい37件 どちらともいえない0件 いいえ0件 わからない2件	日常の行動の様子を保護者に伺いながら、また些細なことでも気になったことは情報共有しながら、療育支援を実施していきます。意思の表出が難しい方の場合はいつもと異なる状況に関心を持って配慮します。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	定期的な会報等の発行については、実施できていない。活動概要や行事予定については、連絡帳を活用し、実施できている。	はい16件 どちらともいえない2件 いいえ5件 わからない17件 (ご意見)・ホームページ等ではないが、知らせて頂いています。・アプリやメールで活動の様子など写真で見る事が出来ればいいなと思う	情報公開等は、これから法人のホームページに毎年公表していくとともに、保護者の意見等を踏まえながらスマートフォンアプリ(ゴドモン等)の利用を活用した連絡等も検討していきたいと思っています。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報保護に関する同意書をいただき対応している。相談支援事業所や他事業所を併用しており、事前に書面を使って具体的に同意をいただいている場合は、日常の様子なども場合により共有させていただく。ファイルには鍵を、データにはPCパスワードを設定している。	はい35件 どちらともいえない1件 いいえ0件 わからない4件	これからも個人情報保護については、その関係法規や倫理観に適宜気をつけておき、馴れることなく、その漏洩リスクを常に念頭において業務を行う。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアルを策定している。警報発令時等の対応は連絡帳に貼付している。	はい27件 どちらともいえない2件 いいえ0件 わからない11件 (ご意見)マニュアルはこれですと提示されたことはないです	これからは保護者にも玄関ロビーにファイルを置き、いつでも閲覧して頂けるように設置します。また内容は適宜見直し、常に運用できるものにしていきます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	今年度は特定のクラスのみ避難訓練を1回実施した。消防署などの指導を受けて行った。	はい12件 どちらともいえない3件 いいえ2件 わからない22件 (ご意見)訓練があったと知らされたことはなかった。	今後は各クラスごとに実施します(避難訓練週等)。内容は消防署等の指導を受けながら、計画的に実施し留意事項、注意点なども踏まえて事前に各保護者様に確実に伝えられるようにしていきます。
	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	虐待防止については日頃からOJTでの共通認識を持って取り組んでいる。外部研修については、今年度は参加できていなかった。		これからは各職員の意識や職業ストレスも把握していくための聞き取り、困りごとなどを個別に訪ねていく。また被虐待児と思われた場合は、事業所内で速やかに話し合い、上長に相談。基幹相談支援センターをはじめ対応機関に連絡する。(間違っていたとしても事業所判断で通報をする。)
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	クールダウンの為、一時その場を離れてもらい、一対一で対応をするはあるが、そのような状況が起こった場合は記録し、保護者に説明し、今後同様の支援の可能性についても伝えている。		身体拘束は今後も行わないが、状況により集団の中から離れてクールダウン等を行う可能性は対応の可能性のある保護者には丁寧に説明し報告もします。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	今のところ事例がない		今後、事例が発生した時に適時実施して行きます。場合により、法人内の嘱託医師や管理栄養士にも相談をしていきます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットの事案があった場合、その記録を作成し、職員全員が閲覧、押印し、保管している。		これからも同様に実施して行きます。繰り返さないようにどうすべきかを引継ぎ共有し、支援計画などにも入れていきます。